



2005・初夏
発行：法問寺
題字：鈴木裕子

◇寺からの報告◇

こうみょう号外でもお伝えした通り、上棟式が無事に終わりました。新しい客殿・庫裏の天井裏棟木には写真のような棟札を取り付けてあります。当代住職名、先代住職名と総代、世話人の名前を記名して設置されます。形あるものはいずれは無くなるものですが新客殿・庫裏が次世代になって修繕等する時に新築当時の記録として天井裏から出現することになるわけです。私たちがこれから五十年を生きるのは難しいことですが次世代へのつながりができることになりました。一般の檀信徒の皆様も勸募金を戴いた証として本堂内に客殿勸募寄附者として永くお名前を残させて頂きたいと思っております。寄附者芳名額は七月のお盆に間に合わせるよう設置の準備をしております。



法問寺花だより 鈴木裕子

今年3月初めから、客殿・庫裏建替えに伴って、数々の木々が境内の中で移植されました。開花周辺で枝を落とされた熱海桜をはじめとして、しだれ桜、椿、薔薇、あじさいなど・・・。



随分心配しましたが、皆、元気に生きています！薔薇も、裏庭できれいに花をつけました。鉢植えのほうの薔薇も、手入れが行き届かなかつたにもかかわらず、5月には、満開！避難しながらの隣同士、鉢がくっつきそうって見事な花をつけてくれました。



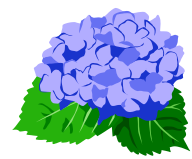
ちようど、そのころにお寺にいらした方々には、その香りもかいでいただくこともできました。もう、6月、これからはあじさいが、雨に濡れ、色を鮮やかに咲く季節ですね。



新しくなる客殿から見えるお庭では、限りのある中で、四季おりおりのお花が楽しめるように・・・と思っております。写真は、鉢植えの薔薇と、お庭に移植した姫柚子の花です。

七月お盆の予定

七月はお盆の時期となりますが、今年の予定は七月十日(日)と十三日(水)について「お迎え法要」を行います。また新盆をお迎えのお檀家は十四日(木)か十五日(金)にご自宅へ住職がお伺いさせていただきます。また十六日(土)は「みたま送り法要」を行う予定です。新盆のお檀家への棚経についてはお伺いする時間を調整して個々にお知らせいたしますので、もししばらくお待ち下さい。各法要の詳細時間などについても皆様にお知らせいたします。



☆住職の奉仕活動報告

二月・三月・四月・五月救急法・幼児安全法指導、五月葛飾赤十字産院で災害時の炊き出し食作成指導配布、五月浄土宗東京教区北部組役員会にて災害時における寺院の役割説明、備蓄米について説明、応急手当の必要性説明

★★★二月～五月までの計報★★★

四月十五日寂 田島力様 五十一歳
照譽賢力信士 (新檀徒)

五月六日寂 染谷愛子様 八十歳
法譽明恵喜愛大姉

◇編集後記 住職

東京には浄土宗の寺が四三〇ヶ寺あります。これを浄土宗東京教区という区分で呼びます。そして東京教区のうち台東区の一部と荒川区、足立区、葛飾区の浄土宗寺院組織を「北部組」と区分けされています。そして葛飾区には浄土宗の寺が十五ヶ寺あり、これを葛飾部と呼称しております。葛飾部では四月から少しづつお寺の行事の一つでもある「お施餓鬼会法要」が行われており、五月末には五ヶ寺の施餓鬼法要が終わりです。この頃は施餓鬼法要が始まる前の「法話」の時間「何かボランティア活動の話をしてほしい」と依頼されることが多くなり数ヶ寺で話すことになりました。皆様も色々な奉仕活動をされていると思いますが坊さんとしての奉仕活動は、微力ながら布施行と思っております。先日、若い僧侶の方とお話していたらボランティア活動についてあまり興味がないように感じ残念な気がしました。寺院組織の北部組でもすこしづつ、実際に自分自身が活動することの重要性を話し始めています。災害時における奉仕活動と寺院のあり方を聞いてもらっています。なかなか難しいです・・・南無南無